

褥瘡（じょくそう）発生率

QI 項目の解説

入院されている患者さんのうち、新規に褥瘡が発生した割合を示しています。

褥瘡とは、寝たきりなどによる体重で圧迫される場所の血流が悪くなったりすることで、皮膚の一部が赤い色味をおびたり、ただれたり、傷ができたりしてしまうことです。

一般的には「床ずれ」ともいわれています。

褥瘡発生率は、看護ケアの質評価の重要な指標の1つになっています。

本指標では、より低い値が望ましいとされています。

〈Depth（深さ）〉

d0：皮膚損傷なし・発赤なし d1：持続する発赤 d2：真皮までの損傷

D3：皮下組織までの損傷 D4：皮下組織を超える損傷 D5：関節腔、体腔に至る損傷

DU：深さ判定が不能の場合

褥瘡発生率

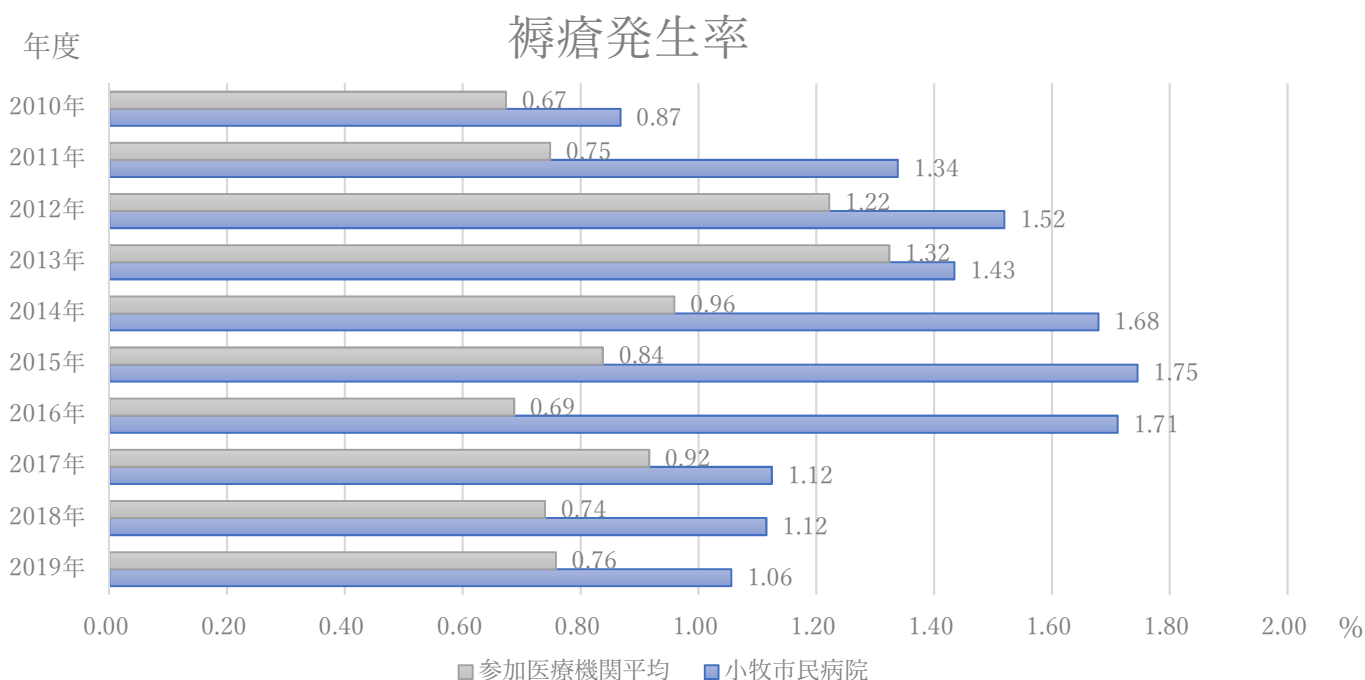
QI 指標の定義・測定方法

分子： 新規褥瘡発生患者数（※1）
分母： 入院延べ患者数（※2）
 $\times 100$ 単位（%）

以下を除外しています。

※1 入院時すでに褥瘡を保有している患者さん

※2 日帰り入院の患者さん・入院時すでに褥瘡が存在していた患者さん・調査期間より前に褥瘡が院内発生していた患者さん



2019 当院データと全施設平均値との比較・原因分析

平均値よりやや多いが、ほぼ平均値です。

2019当院データと2018当院データとの比較・原因分析

2018年と同様の発生率で維持できています。